

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

架け替え前の北浦跨線橋

昭和53年頃撮影
個人蔵



昭和53年頃に撮影された、北浦跨線橋の様子です。
大正12年架設の跨線橋は、みどり野方面と国道6号線を結ぶ重要な連絡道でしたが、道幅が狭く一方通行であり、さらに、撮影時には老朽化のため、二輪以外の自動車は通行止めになっていました。
昭和53年から、架



▲現在の北浦跨線橋

れ、同56年3月に竣工、4月13日に開通式が行なわれました。工事により道幅も16mに広がり、現在は、牛久の重要な生活道路になっています。



明治・大正・昭和の

「昔のうしく」の写真を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

結実期の樹形と果実:牛久自然観察の森 平成24年9月13日撮影



第9回

ゴンズイ

ミツバウツギ科の落葉広葉樹。茨城・富山県以西、沖縄等に分布し、牛久市内でも林縁等に広く生育しています。高さは3〜6m。樹皮は黒緑色に灰褐色の皮目が縦に入ります。このコントラストが魚のゴンズイに似ていることが名前の由来とする説が

あります。葉は羽状複葉で10〜30cmの小葉を5〜6枚つけます。花序は15〜20cmの円錐状で3〜4cmの黄白色の花を多数つけます。普段は目立ちませんが、果実が肉質で真っ赤に熟して反り返り、写真のように黒い種子が現れますので、結実期になると遠くからでも気が付きます。

※牛久の里山樹木ハンドブック38ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。科名は新名称となっています。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ

(文章:伊藤誠、写真:樹形・果実)戸塚昌宏

文芸さろん | 長月 |

網取りと騒ぐカップの夏も過ぐ
夕暮に風がソヨソ肌をなで
冷麦にふる里の味懐かしむ
夏早朝 囀りに子ら体操かな
青田ゆれきらめく先に筑波山
一球に走る姿に元氣もらう
夏祭りお囃子の声にぎやかに
父の笛の音なつかしきなり
境内に献灯並ぶ大鳥居
日傘を杖に参拝をする

木村さん
草葉
小山さん 徹
ヒロシ
岡村さん
あおたん
月田さん

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係

FAX: 873-2512

E-mail: shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)